

令和7年産水陸稲の収穫量の補足資料

関東農政局統計部

【千葉県の作柄概況】

(生産者が使用しているふるい目幅ベース)

図 水稲の作柄表示地帯別10a当たり収量

1 水稲

- (1) 千葉県における令和7年産水稲の主食用作付面積は5万3,100ha（前年産に比べ4,800ha増加）となった。

- (2) 10a当たり収量（生産者が使用しているふるい目幅（1.80mm）ベース）は、546kg（前年に比べ△13kg、対前年比98）となった。これは、分けつ期に当たる5月中旬から6月中旬にかけての日照不足により穂数が少なくなったが、その後は多照で推移して1穂当たりもみ数は多く、全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は「前年並み」となり、また、千もみ当たり収量は、出穂期以降、高温により登熟が抑制されたことから「やや少ない」となったためである。

作柄表示地帯別では、京葉で522kg（同△2kg、100）、九十九里で562kg（同△21kg、96）、南房総で536kg（同△8kg、99）となった。

- (3) 以上のことから、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用（生産者ふるい上米））は、28万9,900t（前年産に比べ1万9,900t増加）となった。

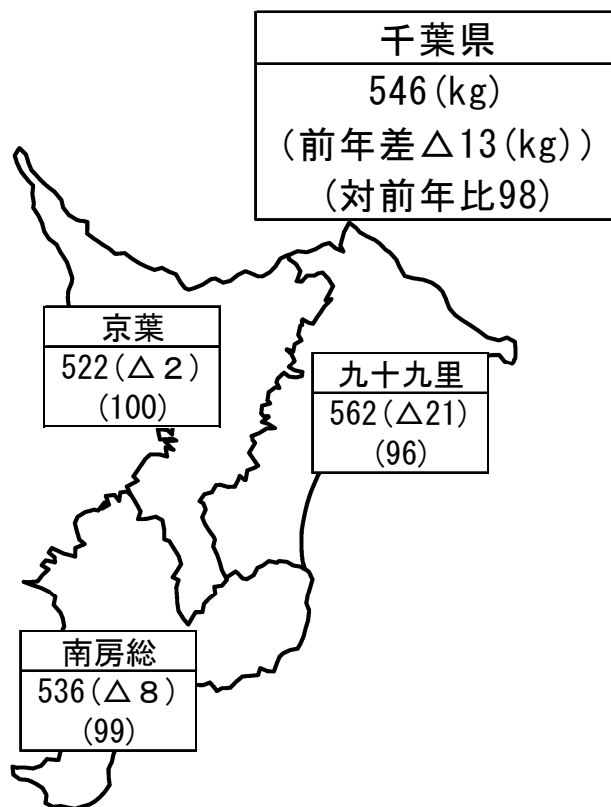
- (4) なお、千葉県の作況単収指数は101となり、作柄表示地帯別では、京葉、九十九里及び南房総で101となった。

2 陸稲

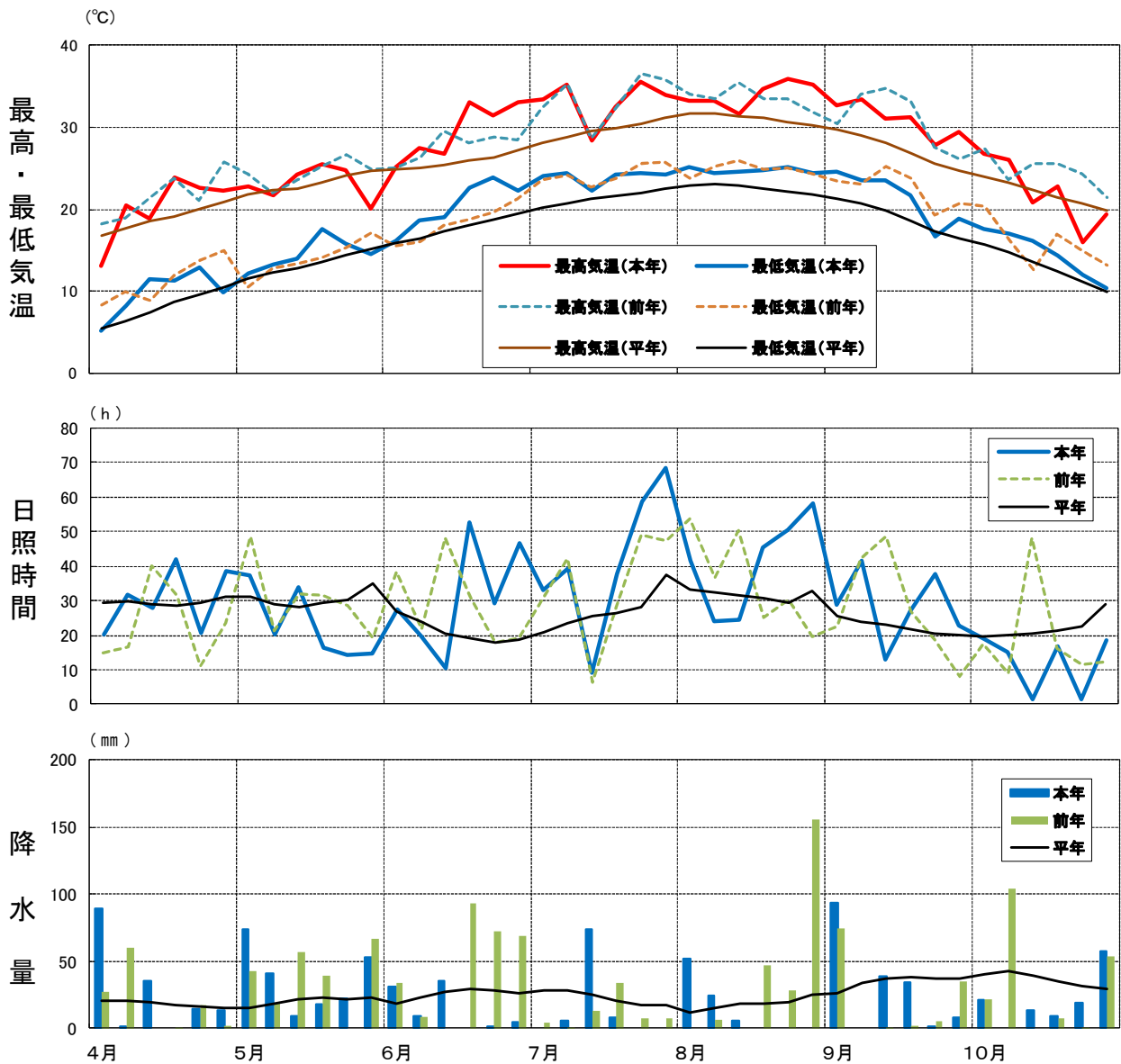
本年産については、主産県を調査の対象としているため本県の調査は実施していない。

○ この資料は、「令和7年産水陸稲の収穫量」12月12日公表の補足資料として作成したものです。

詳細については同公表資料を御覧ください。



令和7年 半旬別気象（佐倉）



資料：気象庁

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2025kekka.html#R07PR04_12 】

二次元コードはこちら→



お問合せ先

◎本統計調査結果について
関東農政局 千葉県拠点 統計担当
電話：043-253-9212